

# 地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和2年2月25日)

- 1 第3回鳥取港長期構想検討委員会の開催について

【空港港湾課】……1ページ

- 2 第3回よなごベイウォーターフロント検討会の開催について

【空港港湾課】……2ページ

- 3 鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会の「現地視察」及び「第1回会議」の結果について

【淀江産業廃棄物処理施設計画審査室】……3ページ



### 第3回鳥取港長期構想検討委員会の開催について

令和2年2月25日  
空港港湾課

鳥取港の20～30年先の物流・人流など総合的な港湾の将来像や空間の利活用をとりまとめた、長期構想を策定するため、第3回鳥取港長期構想検討委員会を開催しましたので概要を報告します。

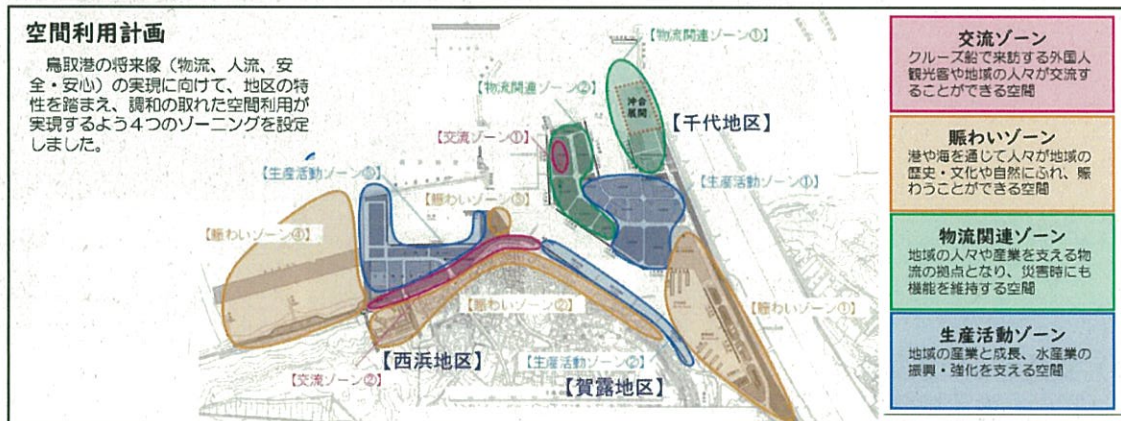
- 1 日時：令和2年2月21日（金）  
13:30～15:30
- 2 場所：賀露地区公民館 3階会議室
- 3 委員：須野原 豊 日本港湾協会理事長  
 栢見 吉晴 鳥取大学学長顧問  
 馬場 芳 鳥取大学准教授  
 深田 幸孝 日本通運(株)部長  
 石畑 美幸 (株)富士ユニコン取締役  
 広坂 寿子 小型船婦人部会長  
 羽場 恭一 鳥取市副市長  
 岸 睦 賀露地区公民館主事 外4名

4 内容：  
第2回鳥取港長期構想検討委員会で提示した鳥取港長期構想(案)に対して、委員からの意見とパブリックコメントで寄せられた意見を反映した内容について討議を行いました。

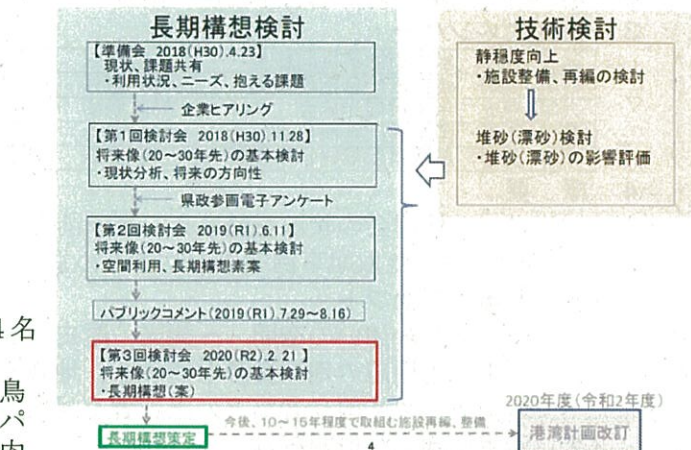
- (1) パブリックコメントで寄せられた主な意見  
 実施時期：令和元年7月29日から8月16日まで  
 応募件数：6件（応募者数4人）

主な意見	反映内容
・モータリシフトの推進、機能強化を図ってほしい。	・貨物動向も踏まえ、航路誘致等行っていく。
・公園の整備等で若者や家族連れが楽しめる場所にしてほしい。	・令和2年度より緑地の再編を予定している。
・鳥取砂丘への影響が心配。	・各関係機関が連携して鳥取砂丘など周辺海岸への影響を調査し、『鳥取沿岸の総合的な土砂管理ガイドライン』に基づき対応していく。

- (2) 第3回委員会での委員からの主な意見
  - ・今回の長期構想をもとに港湾計画を改訂していくことになるが、中・長期的に取り組んでいく港湾整備についてもなるべく早期に取り組んでいくこと。
  - ・山陰近畿自動車道（鳥取～福岡間）について、鳥取港に一番近いルート案に決定したことから、この道路を有効に活用して鳥取港が発展してもらいたい。
- (3) 鳥取港長期構想イメージ



- 5 今後の予定  
 今年度策定される長期構想（3月公表予定）に基づき、概ね10～15年程度で取り組む整備、施設再編を示す港湾計画の改訂を令和2年度に予定しています。



#### ○鳥取港の課題対応



### 第3回よなごベイウォーターフロント検討会の開催について

令和2年2月25日  
空 港 港 湾 課

米子港を含めたウォーターフロント全体の活性化を目指すため、「第3回よなごベイウォーターフロント検討会」を開催しましたので概要を報告します。

- 1 日 時：令和2年2月20日（木）10：00～11：00
- 2 場 所：鳥取県西部総合事務所 講堂
- 3 検討会メンバー：

武良 賢治	米子市漁業協同組合	南 順三	米子中央食品卸売団地	鷺見 雄司	米子食品工業団地
杵築 俊朗	義方校区自治連合会	福田 憲保	米子商工会議所	下田 由美	米子商工会議所
大塚 寿史	米子市観光協会	前原 勝樹	米子工業高等専門学校	小椋 弘佳	米子工業高等専門学校
細田 佳男	国交省出雲河川事務所	八幡 泰治	米子市	杉村 聡	米子市
坂本 浩彰	鳥取県西部総合事務所	三嶋 誠	鳥取県西部総合事務所		

- 4 概 要：
  - これまでの検討会の状況を踏まえ、米子港周辺ウォーターフロント活用策として、基本コンセプト及び活用に向けた取組事例等を取りまとめました。

#### (1) 基本コンセプト

- 水辺を楽しむ憩いの空間 ～観光、歴史・文化、スポーツ～
  - ◇米子港周辺の地域資源を活かし、地域の活性化に寄与する拠点づくり
  - ◇地域住民や観光客などの来訪者を対象とした、賑わいの創出

#### (2) 活用に向けた取組事例

- 中海・錦海かわまちづくり計画の推進
  - ・国による親水護岸整備をはじめとするハード整備のほか、加茂川遊覧船のコース造成やマリンスポーツなど、中海の湖面利用を促進しソフト面からも活用を推進。
- 水辺の散策路の整備
  - ・湖岸堤の整備とも連携しながら、米子城跡、城下町、加茂川遊覧などの周辺資源を活かし、水辺ならではの空間を感じる憩いの場を提供する散策路を検討。
- 活性化ゾーンの活用
  - ・民間事業者による活用に向け、公募条件の整理とともに、必要なインフラ整備や規制緩和の検討。



#### (3) 委員からの主な意見

- ・官民が米子城跡の活用に取り組んでおり、基本コンセプトに基づき連携して一体的に取り組む。
- ・活用策に基づく今後の活動により地域住民も含めた活用となることを期待する。
- ・活用策が産業振興につながるよう取り組んでほしい。
- ・多くの方々が観光資源の活用などに動かれているので、今後進出する民間事業者も地域を活かせるように、地域を支える取組として観光、商工関係団体も協力していく。

#### 5 今後の取組：

今後、ホームページ等で活用策を公表して、広く周知を図ります。  
また、活用策に基づき「中海・錦海かわまちづくり計画の推進」、「水辺の散策路の整備」、「活性化ゾーンの活用」など、国・県・市、民間が連携しながら、ウォーターフロント全体の一体的な取組を進めていきます。

## 鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会の「現地視察」及び「第1回会議」の結果について

令和2年2月25日  
淀江産業廃棄物処理施設計画審査室

鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会の「現地視察」及び「第1回会議」を開催したので、結果について報告します。

### 1 現地視察

- (1) 日時 2月16日(日) 午前9時から正午
- (2) 場所 事業計画地、福井水源地、塩川、三輪山(みわやま)の清水、天の真名井 等
- (3) 委員 しまだじゅん 嶋田 純 熊本大学名誉教授、すぎたふみ 杉田 文 千葉商科大学教授、いとうひろこ 伊藤 浩子 一般財団法人地域地盤環境研究所主任研究員、かつみたけし 勝見 武 京都大学大学院教授、こだまよしのり 小玉 芳 敬 鳥取大学教授
- (4) 内容 地層の露頭部分、ボーリングコア(サンプル)、周辺水源を確認

### 2 第1回会議

- (1) 日時 2月16日(日) 午後2時から3時40分
- (2) 場所 米子ワシントンホテル 2階「らん」
- (3) 委員 前述のとおり
- (4) 結果
  - ア 会 長：嶋田純 熊本大学名誉教授に決定。(委員の互選による)
  - イ 公開規程：各委員から事前に伺った意見に沿って作成した案(=傍聴定員30名、別室モニター傍聴室の準備、遵守事項(撮影・録音の禁止、議事妨害の禁止等)に違反した場合の退場などの定め)を決定。
  - ウ 調査方針：次の意見に沿って調査計画を検討していくことを決定。  
(主な意見)
    - 追加ボーリングは必要。  
ただし、具体的な場所、箇所数、深さなどについては、改めて検討する。  
また、既存のボーリングも、使えるものはなるべく活用する。
    - 解析方法は、3次元シミュレーションを検討する。  
範囲は、(北側)日本海、(南側)精進川、(東側)孝霊山の尾根筋、(西側)佐陀川まで。(約30平方km)
    - 調査期間は、1年半～2年程度かかる。
      - ・基礎データの収集(地層・地質データ、地下水の水位・水質観測、  
河川の流量観測など) ⇒ 1年以上
      - ・3次元シミュレーションのモデル設定、検証 ⇒ 半年～1年
    - 追加の資料として、調査範囲内の川の流量データ、気象データ、既存の井戸データ(水位、水質)等の収集が必要。
    - 地下水位、河川の流量観測は、なるべく早めに観測を始めた方が良い。
- (5) 傍聴者：22名(会議室内傍聴定員30名を下回り、別室モニター室での傍聴なし。)

### 3 今後の予定

第2回会議は、令和2年4月頃を予定。

# 計画地周辺の地形



※ 縦：横＝1：1

## 地形図

資料出典：2万5千分の1地形図 (H27.10) 国土地理院  
地理院地図 (電子国土WEB) HP  
(<https://maps.gsi.go.jp/>) に加筆